



## 「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2019年 2月 2日(土) 10時00分～ 15時00分	
場所	金ヶ崎公園	
参加者	エコウイング会員／8名(午前のみ参加 1名)、事務局／1名	計／9名

### ● 午前

1月は正月のため金ヶ崎公園の活動を休んだので、今日は2か月ぶりの活動になりました。今日は、朝の気温が約1℃、昼間の最高気温も10℃に届かない寒い一日になりました。その中で、朝10時に9名のメンバーが活動に集まりました。

今日も、いつもどおりに会議室でミーティングの後、公園内のコースを一巡りして昆虫を中心とした自然観察をしました。気温が低いため、最初は全く昆虫が姿を見せませんでした。日が高くなるにつれてひだまりの暖かさに誘われて、ハエやガのなかまなどが少しずつ姿を見せ始めました。今日、特に数多く観察できたのはカメムシのなかまでした。

### ● 午後

昼休みには、温かいおでんの差し入れがあり、参加者全員でおいしくいただきました。

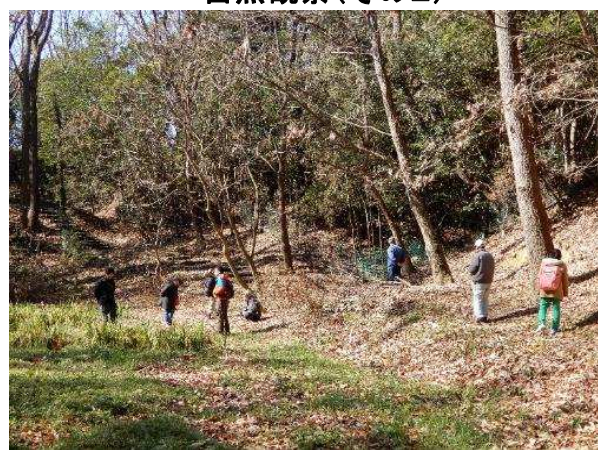
午後は、メンバーが1人減り、8名で里山の整備をしました。昨年の夏の台風で落下した大きな枝の処理や常緑樹の除伐、枯木の伐倒などに取り組みました。里山整備は、昨年の11月以来の久しぶりの作業になりました。

- 次回の活動は3月3日(土)の予定です。春の気配も色々と感じられる時期になっていると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



暖かいおでんの昼食



里山整備作業(その1)



里山整備作業(その2)



里山整備作業(その3)



●金ヶ崎公園のナラ枯れ対応

2016年8月に、初めて被害が確認された金ヶ崎公園のナラ枯れは、その後も被害が広がり、昨年は合わせて70~80本のコナラやアベマキの大径樹に被害が増えました。

特に公園奥のロータリーの北側に被害が集中しています。明石市の緑化公園課が主体になって、これから被害木の伐採による対策が始まります。樹齢50年ほどの大木がたくさん伐られ、金ヶ崎公園の風景も大きく変わることになると思われます。

右の写真は、今日の金ヶ崎公園最奥部の眺めですが、この風景がどのように変わっていくか、見守りたいと思います。



## MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今は1年でも一番寒い時期です。今日の昆虫を中心とした観察会もその寒さの中で始まりました。最初は全く姿を見せなかった昆虫ですが、その後次第に気温が上がるにつれて、数は少ないもののハエやカメムシのなかまなどが観察されるようになりました。特にカメムシは、樹木の名前札の裏側に潜んでいるのが次々に見つかりました。なかでも、ヨコヅナサシガメは数十匹の幼虫が群れになっていました。

午後の里山整備の活動中には、さらに気温が上がったこともあって、チョウのなかまも姿を見せました。今日の観察で撮影できた昆虫の写真を紹介します。

ヨコヅナサシガメ幼虫の群れ



キマダラカメムシ



クサギカメムシ



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ミナミアオカメムシ



クモヘリカメムシ



アオモンツノカメムシ



ハエのなかま



シロオビフユシャク



キタキチョウ



野鳥では、ふもとの北浦池で冬鳥のミコアイサやマガモが姿を見せていたほか、カイツブリやダイサギ、アオサギ、カワウが観察できました。

公園内では、冬鳥のジョウビタキやシロハラ、常連のコゲラやカワラヒワを確認しました。ただ、毎年姿を見せるルリビタキがこの冬はまだ確認できません。今年は、冬鳥の数が全体に少ないようです。

ミコアイサ(オス)



ミコアイサ(メス)



マガモ



カイツブリ



羽を広げるカワウとアオサギ



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

ダイサギ



ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



シロハラ



コゲラ



カワラヒワ

